

2017年度 決算説明会

2018年5月10日（木）

株式会社 朝日ネット

証券コード：3834



つなぐをつくる、つなぐをささえる。

AsahiNet

目次

I. 2017年度決算の総括

- ❖ 2017年度 決算ハイライト
- ❖ 損益計算書 前年同期比較
- ❖ 損益計算書 計画比較

II. ISP事業の状況

- ❖ 会員数の状況
- ❖ 退会率の推移
- ❖ TOPICS
 - 外部評価機関による満足度評価
 - IPv6接続サービス提供状況
 - IoT/M2M通信インフラとしての導入事例
 - マンション全戸加入プラン 好調
 - ASAHIネットおまかせルーター 導入事例

III. 教育支援サービス「manaba」の状況

- ❖ 教育支援サービス「manaba」の概要
- ❖ 「manaba」契約数の推移
- ❖ TOPICS
 - 授業アンケートオプションの導入好調

IV. 2018年度の計画

- ❖ 2018年度の収益計画
- ❖ 株主還元
- ❖ ISP事業の展開
- ❖ 新事業
 - HRTechの展開

<将来予測に関する注意事項>

この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的な事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらの記述は現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従いましてこれら業績見通しに全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

様々な重要な要因により実際の業績はこれら業績見通しと大きく異なる可能性があります。そして見通しと比べて悪い結果となる場合もあります。

また掲載内容については細心の注意を払っておりますが掲載された情報の誤り等に関し当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

I. 2017年度決算の総括

2017年度 決算ハイライト

- 1 6年連続で過去最高の売上高を更新**
- 2 ISP「ASAHIネット」会員数は前年同期末比8千ID増の599千ID**
- 3 ネイティブ方式でのIPv6接続サービスを開始
通信トラフィックが増加する中でも安定した高品質なサービスを提供**
- 4 manaba の全学導入数は順調に増加
前年同期末比で10校増の86校**

損益計算書 前年同期比較

- 「AsahiNet 光」やモバイル接続サービスの伸長により過去最高の売上高を更新
- ネットワーク関連費用の増加
 - ネイティブ方式でのネットワーク構築による償却費・通信費
 - ネットワーク機器の更新に伴うコスト

(単位：百万円)	2016年度 実績	2017年度 実績	増減額	増減率
売上高	8,799	9,338	+538	+6.1%
営業利益	1,307	843	-464	-35.5%
経常利益	1,313	851	-462	-35.2%
純利益	950	577	-372	-39.2%

損益計算書 計画比較

- ネイティブ方式のネットワークを活用した他通信事業者に向けたサービスの提供が2018年度にずれ込んだことと教育支援サービス「manaba」の売上未達により売上高および営業利益が計画に対して減少

2017年5月10日公表値

(単位：百万円)	2017年度 計画	2017年度 実績	増減額	増減率
売上高	10,000	9,338	-661	-6.6%
営業利益	1,000	843	-156	-15.7%
経常利益	1,000	851	-148	-14.8%
純利益	700	577	-122	-17.5%

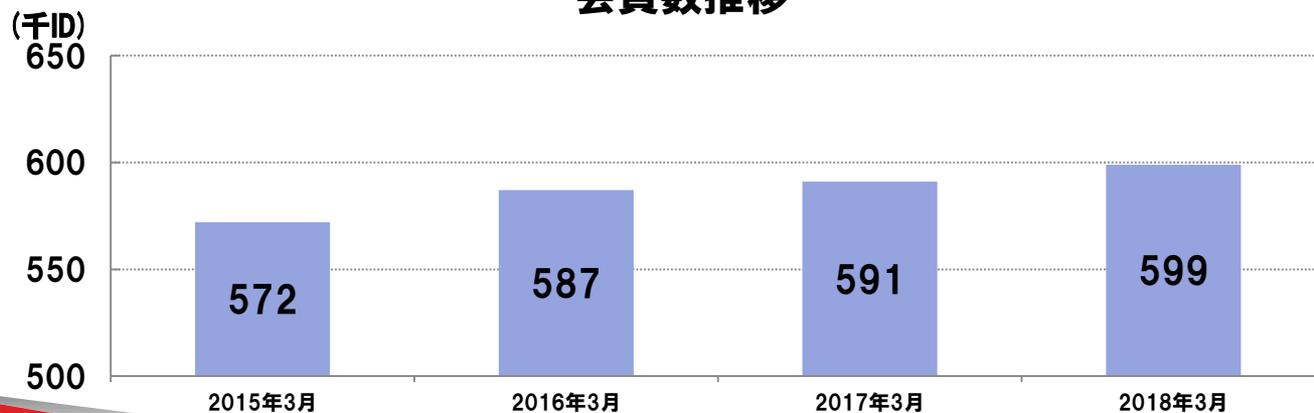
II. I S P 事業の状況

会員数の状況

- 2018年3月末の「ASAHIネット」会員数は599千ID（対前年同期末比8千ID増）
- 法人会員が引き続き順調に増加

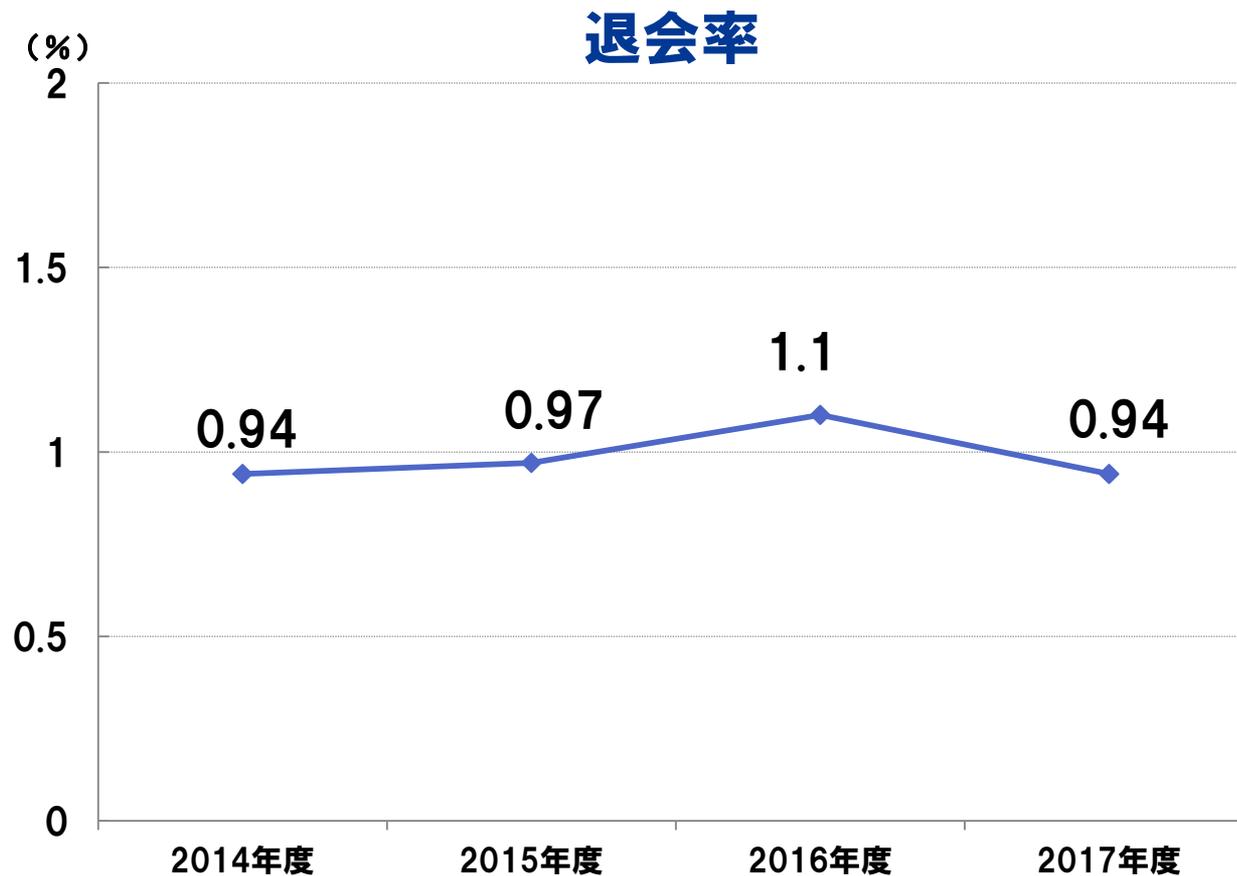
(単位：千ID)	2017年 3月末	2018年 3月末	増減数	増減率
光接続	368	378	+10	+2.6%
ADSL	29	25	-4	-12.2%
ブロードバンド合計	397	403	+6	+1.5%
モバイル接続・ナローバンド他	194	196	+2	+1.1%
会員数	591	599	+8	+1.4%

会員数推移



退会率の推移

- 当社会員の退会率は1%切る水準に改善



※退会率=当該月の接続会員退会数÷当該月の接続会員数

TOPICS : 外部調査機関による満足度調査

「ASAHI ネット」はブロードバンド情報サイト
RBB TODAYが主催する顧客満足度の高い
サービスを選出する

「ブロードバンドアワード2017 プロバイダ部門」

において4年連続で**総合1位**を獲得

今後も一人ひとりのお客様にご満足いただける
インターネット接続サービスを提供してまいります。



【 RBB TODAY ブロードバンドアワードとは】

「RBB TODAY ブロードバンドアワード2017」は読者投票により利用者満足度の高いサービスを選出して表彰するもので今年で14回目（14年目）となります。

投票はRBB TODAYのサイト上と株式会社イードが運営するアンケートサイト「あんばら」で実施されています。

TOPICS : IPv6接続サービス提供状況

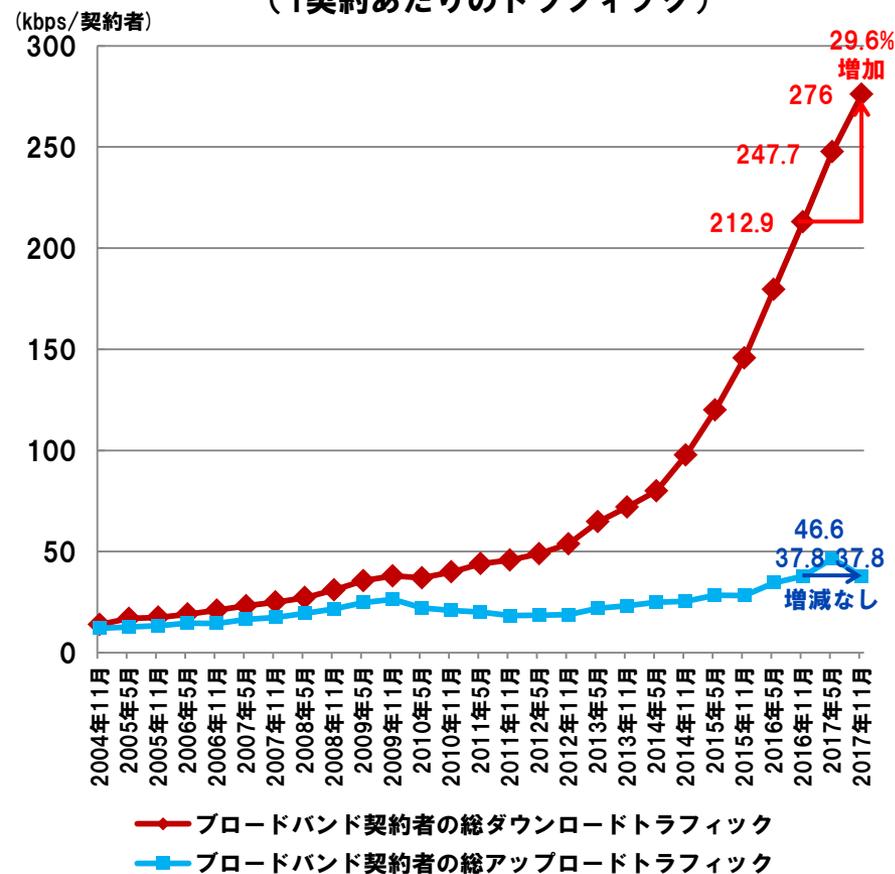
通信トラフィックの状況

- 日本のブロードバンド契約者の1契約あたり通信トラフィックは前年同月比29.6%増と引き続き高い伸び率で増加

当社の対応

- 2016年度に構築したネイティブ方式でのネットワークを活用したIPv6接続サービスを2017年4月から提供開始
- IPv6接続サービスの対象となるNGN光回線を利用している「ASAHIネット」会員のうち7割がIPv6接続サービスを利用中

日本のブロードバンドのトラフィック
(1契約あたりのトラフィック)



(出典) 総務省「我が国のインターネットにおけるトラフィックの集計結果」

TOPICS : IoT/M2M通信インフラとしての導入事例

IoT/M2Mの普及に伴い様々な用途でインターネット接続サービスが利用されている。
その一環として産業用モバイルルータメーカーとのM2M案件の取り組みを開始。

- 産業用モバイルルータメーカーとM2M案件の取り組みを拡大中
- 主な業界として小形風力発電、マイクロ水力発電、太陽光発電に注力



TOPICS : マンション全戸加入プラン 好調

- **ネイティブ方式でのIPv6対応**

自社VNE設備によるネイティブ方式でのIPv6接続サービスを利用し
安定した通信品質にて回線を提供

- **安定した収益性**

最低利用期間が5年間と長く安定した収益を見込む

- **営業効率の向上**

従来の一部屋ごとの契約と異なりマンションのオーナーや管理組合を対象に
棟全体で契約を行うため営業効率が向上



提供開始以降NTT東日本・西日本と販売、サービスの両面で協力関係を築き
契約獲得を順調に伸ばしております。

TOPICS : ASAHIネット おまかせルーター 導入事例

株式会社シャノール様が運営する

カフェ・ベローチェ、コーヒーハウス・シャノール等の全店(2018年3月末現在192店舗)にお客様用Wi-Fiとして ASAHIネット おまかせルーター を導入予定。

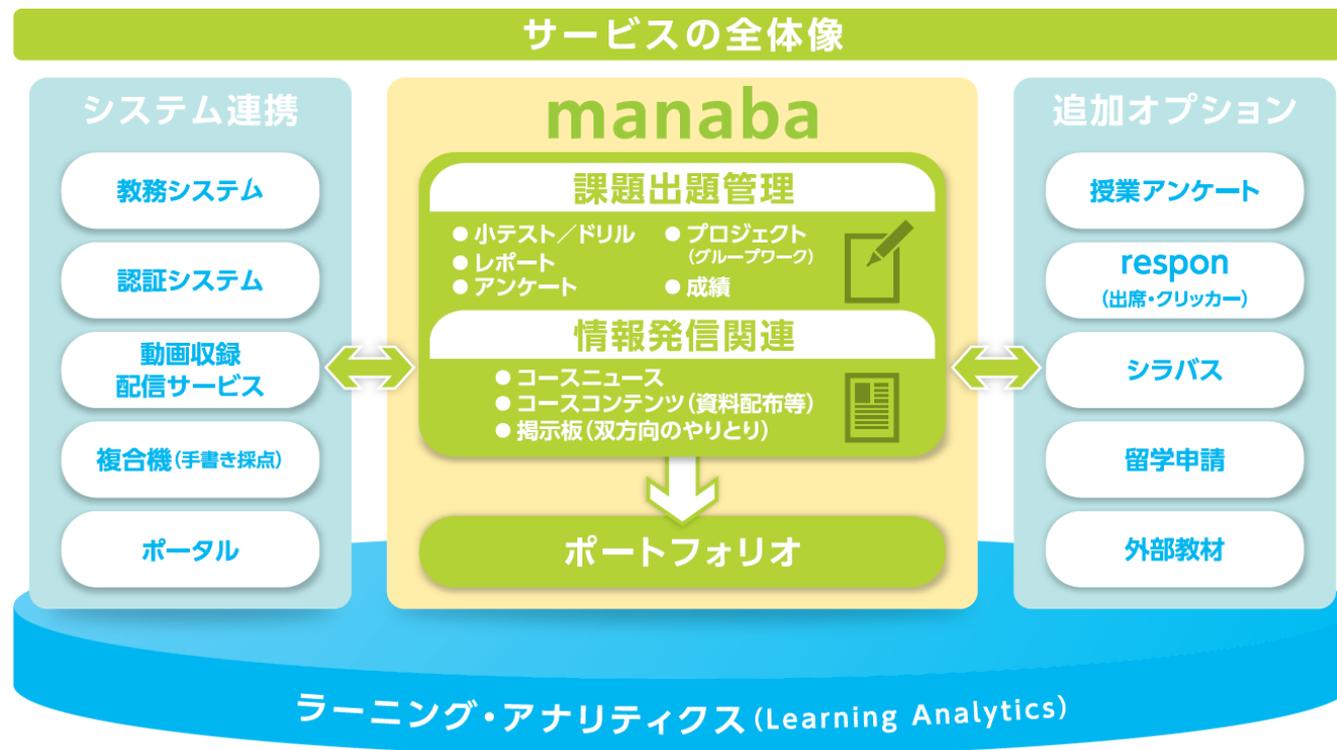


III. 教育支援サービス 「manaba」の状況

教育支援サービス「manaba」の概要

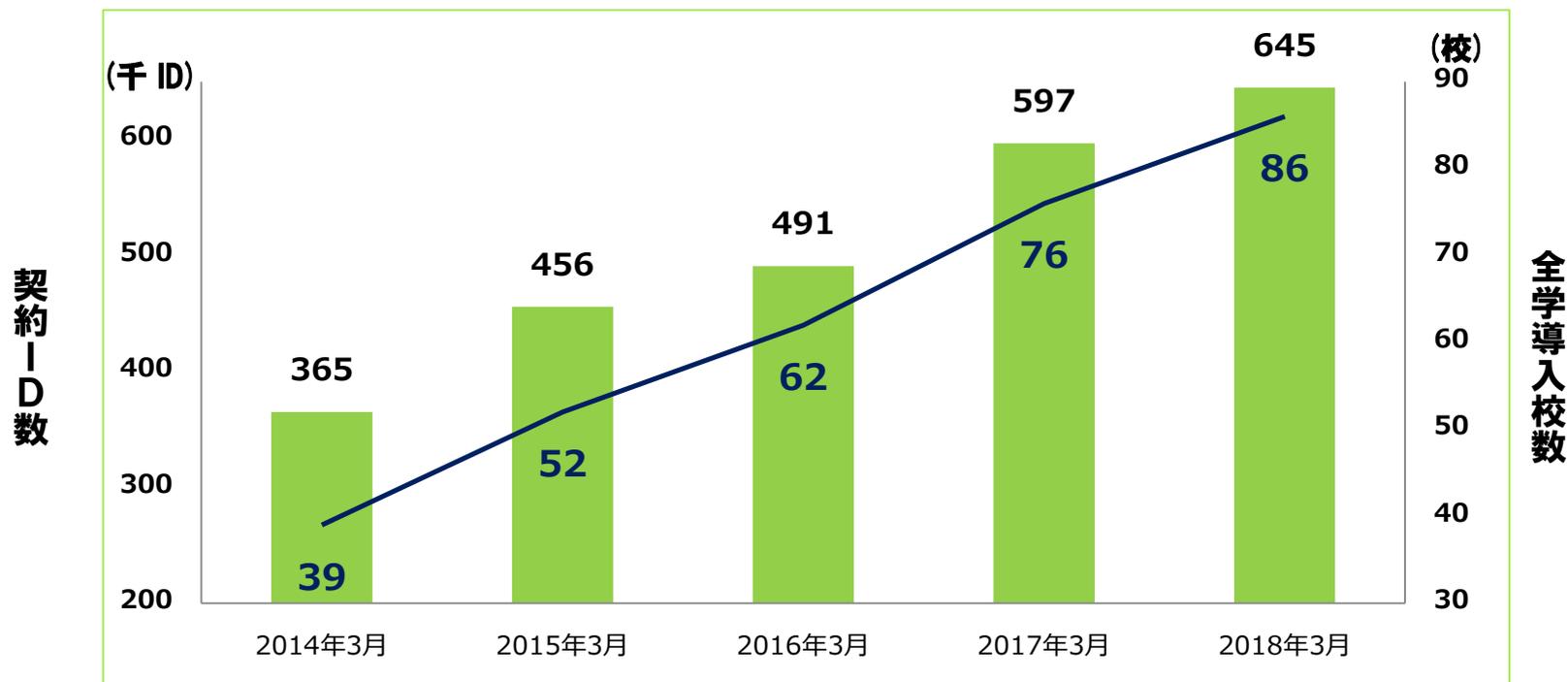


LMS（Learning Management System）としての役割に加え、様々な学内システムや外部教材との連携を行っている教育支援サービス



「manaba」契約数の推移

- 「manaba」の契約ID数は前年同期末比48千ID増の645千IDに拡大
- 全学導入校は 86校
(2017年度は鹿児島大学、関東学院大学、大東文化大学などに導入)



TOPICS : 授業アンケートオプションの導入好調

「manaba」では学生による授業評価アンケートを実現する「授業アンケートオプション」の導入が増加。

- 集計作業・コストを大幅に削減
従来のマークシート等の紙媒体を使ったアンケートに比べ集計作業の手間やコストを大幅に削減
- 高いアンケート回収率を実現
教員や学生が日々利用している「manaba」の基盤を活かし高い回収率を実現



【授業アンケートとは】

教育内容等の改革の一環として各大学が実施しているアンケートのことです。文部科学省の調査によると平成27年度において学生による授業評価を実施した大学は国公立全体で99.3%となっています。

出典：文部科学省 大学における教育内容等の改革状況について（平成27年度）

	従来の マークシート	manaba の 授業アンケート
問題作成	学校担当者がデータ作成業者へ依頼	学校担当者が作成、登録
集計結果	回答から約1カ月後	回答後即時
学生へ フィードバック	回答から約2カ月間	回答から約1週間

2017年度には帝京平成大学や鹿児島大学など新たに10校で導入し25校で活用中。

IV. 2018年度の計画

2018年度の収益計画

- 「AsahiNet 光」の売上増などにより売上高が過去最高を更新する見込み
- ネイティブ方式のネットワークを活用したIPv6接続サービスを他通信事業者に向けて提供開始することによる売上高の増加を見込む
- ネットワーク構築に伴う減価償却費や通信コストは前期並みを想定。営業利益は増益を見込む

(単位：百万円)	2017年度 実績	2018年度 計画	増減額	増減率
売上高	9,338	10,000	+661	+7.1%
営業利益	843	1,200	+356	+42.3%
経常利益	851	1,200	+348	+40.9%
純利益	577	840	+262	+45.4%

株主還元

- 当社の基本的な経営方針として安定的な高配当を継続
- 2018年度は1株あたり18円の配当（配当性向63.4%）を計画

(単位：百万円)	2013年度 連結	2014年度 連結	2015年度 個別	2016年度 個別	2017年度 個別	2018年度 個別計画
当期純利益	915	883	881	950	577	840
配当金総額	533	542	537	532	532	532
配当性向	58.4%	61.6%	61.0%	56.1%	92.2%	63.4%

ISP事業の展開

「ASAHIネット」

- 「AsahiNet 光」を利用する法人顧客向け営業施策やNTT東西と連携したマンション全戸加入プランなどの販売を強化
- 「ASAHIネット」法人会員向けとしてネイティブ方式のネットワーク上でIPv4固定IPアドレスを利用できる新サービスを提供開始

他通信事業者向け

- ネイティブ方式でのIPv6インターネット接続をISP事業者等の他通信事業者にローミング提供するIPv6接続サービスを提供開始

新事業：HRTechの展開

- 2017年度に株式会社人材研究所と資本提携を実施
- 2018年度からEdTech (manaba) × HRTech (人材研究所) による新しい展開に向けた取り組みを開始

第一弾として2018年5月17日に中央大学のキャリアセンターとタイアップし

3年生を対象に「アセスメント (自己分析ツール) を活用した自己分析講座」を企画



株式会社 人材研究所
Talented People Laboratory Inc.

以上